令和4年度島原市当初予算概要ダイジェスト版



一般会計 当初予算額

240億8800万円

（前年度比4.4％）

引き続き「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策に取り組むとともに、重要テーマである**アフターコロナの「 暮らしに寄り添い　未来へ繋ぐ 」**をさらに推進

	令和4年度	令和3年度	伸び率
一般会計 （A）	240億8,800万0千円	230億6,800万0千円	4.4%
特別会計 （B）	74億6,435万6千円	77億2,843万4千円	△3.4%
合　計 （A+B）	315億5,235万6千円	307億9,643万4千円	2.5%

●一般会計の特徴と総額の増減要因

○ 人口減少対策並びに地方創生を目指す**「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は　120事業　予算額 約24億600万円**

○ **「暮らしに寄り添う」の推進**　新型コロナウイルス感染症対策やコミュニティバスの利便性向上、行政サービス窓口（とるっと）の設置、新たな児童見守りシステムの導入

○ **「未来へ繋ぐ」の推進**　グリーン社会の実現（浄化槽設置補助、地域再エネ導入調査、各公共施設の照明LED化）、島原城天守閣の整備、人工芝グラウンドの改修

事業別増減要因

【増加要因】
- **認定こども園施設整備事業**（約5億2,800万円皆増）
- **地方債元利償還金**（4億2,200万円増）
- **ふるさと納税関係経費**（約3億200万円増）
- **浄化槽設置整備事業**（約1億8,200万円増）
- **島原城整備事業**（1億6,300万円増）

【減少要因】
- **産地生産基盤パワーアップ事業**（2億8,800万円減）
- **新庁舎整備事業（屋外附帯2工区）**（1億4,800万円皆減）
- **堀町縦線整備事業**（約1億3,300万円減）

● 歳入歳出予算の概要

	主な費目等	予算額	前年度比較	増減の要因
歳入	**地方交付税**	64億5,000万円	8億円増	普通交付税（公債費の増、臨時財政対策債の減）の増額
	国庫支出金	約45億3,300万円	約5億2,300万円増	保育所等整備交付金、認定こども園施設整備交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の皆増
	市債	約16億8,600万円	約3億7,300万円減	臨時財政対策債の減額、庁舎災害復旧事業費の皆減
歳出	**公債費**	約24億7,200万円	4億2,200万円増	新庁舎整備事業にかかる地方債元利償還金の増額
	物件費	約33億7,300万円	約3億2,900万円増	ふるさと納税関係経費の増額や資源・不燃ごみ収集運搬業務委託料、新型コロナウイルス感染症対策事業の皆増等
	投資的経費	約26億2,800万円	約1億3,900万円増	島原城整備事業や無電柱化推進事業の増額、人工芝グラウンド改修事業の皆増

※増減額が大きいもの

● 主な事業

◎は新規事業

	コミュニティバス運行事業	5,679万円	暮らしに寄り添う
	行政サービス窓口（とるっと）経費	1,075万円	
	認定こども園施設整備事業	5億2,829万円	
◎	子ども家庭総合支援拠点運営事業	377万円	
◎	保育補助者雇上強化事業	4,899万円	
	児童見守りシステム運用事業	370万円	
	新型コロナウイルス感染症対策事業	1億1,347万円	
	ロケツーリズム推進事業	735万円	未来へ繋ぐ
	ふるさと納税関係経費	5億8,954万円	
◎	自治体デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）推進経費	1,480万円	
◎	有明庁舎外壁等改修事業	4,400万円	
◎	地域再エネ導入に向けた調査事業	1,000万円	
◎	４万人のごみ減量プロジェクト推進事業	270万円	
	ながさき型スマート産地確立支援事業	1,373万円	
◎	漁港浮桟橋整備事業	900万円	
	島原城整備事業	2億5,000万円	
	無電柱化事業	1億1,300万円	
	堀町縦線整備事業	1億5,422万円	
	親和町湊広場線整備事業	7,100万円	
	安徳新山線整備事業	3億1,217万円	
	市営住宅整備事業	1億9,280万円	
	浄化槽設置整備事業	2億5,591万円	
	ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」	473万円	
◎	国際スポーツ交流事業	324万円	
◎	体育施設LED照明更新事業	403万円	
◎	平成町人工芝グラウンド改修事業	9,100万円	